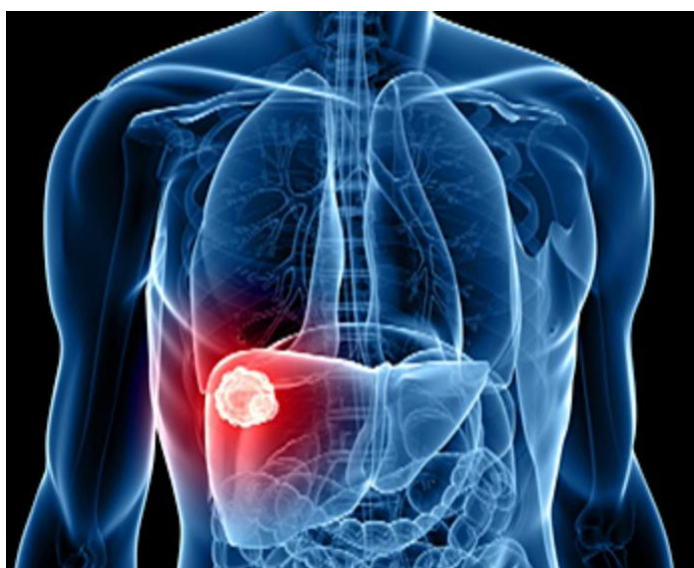
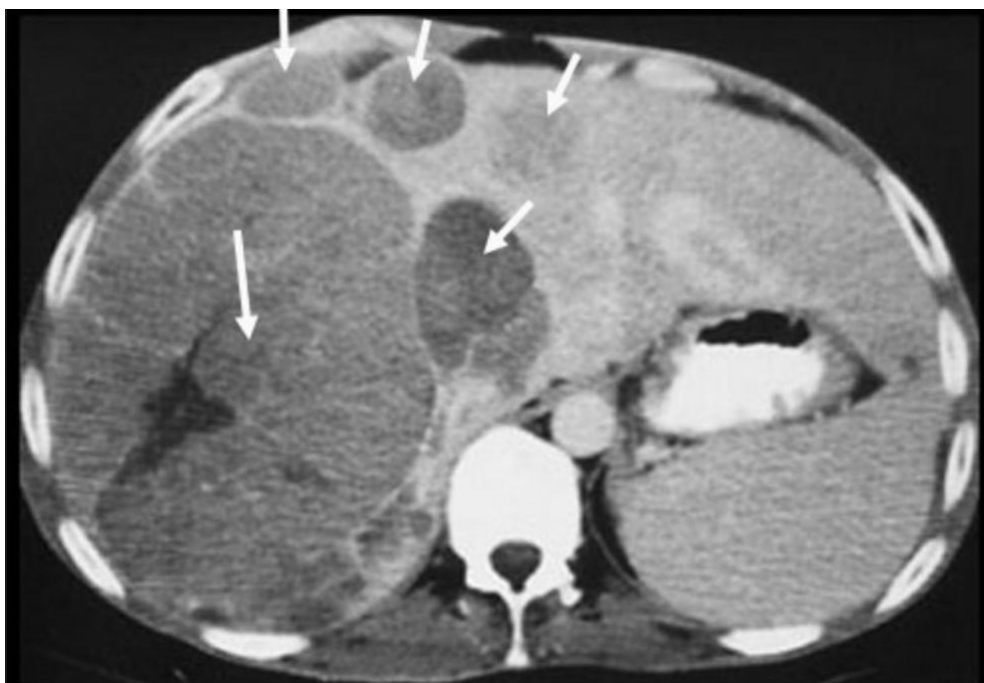


ビタミンDと肝臓がんのリスク について

「血液中の**ビタミンD**濃度が低いと**肝臓がん**になるリスクが高くなる」ことを、国立がん研究センターの研究チームが医学誌ブリティッシュ・メディカル・ジャーナルに発表しました。



研究チームは40～69歳の約3万3千人を約16年間追跡。その結果、**ビタミンD**濃度が最も低いグループは、最も高いグループに比べて、**肝臓がん**のリスクが約5割高い結果となりました。



ビタミンDは魚に多く含まれていて、がん細胞の増殖を抑える働きがあるといわれています。

